

Peregrine

AssetCenter



更新

(c) Copyright 2005 Peregrine Systems, Inc.
All Rights Reserved.

本書に記載されている情報は、Peregrine Systems, Incorporatedが所有し、Peregrine Systems, Inc.の書面による許可なく使用または開示することはできません。本書の一部または全部を、Peregrine Systems, Inc.の事前の書面による許可なく無断で複製することを禁じます。本書に記載されている商品名は、該当する各社の商標または登録商標です。

Peregrine Systems (R)およびAssetCenter (R)は、Peregrine Systems, Inc.の商標です。

このマニュアルに記載されたドキュメントならびに関連ソフトウェアはライセンスまたは非開示契約の下で提供され、その使用または複製については契約条件に従うものとします。本書に含まれる情報は今後変更される可能性があり、Peregrine Systems, Inc.には一切の責任はありません。本書の最新版の日付を確認するには、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポートまでお問い合わせください。

デモ用データベースと本書の例に使用されている団体名および個人名は架空のものであり、本ソフトウェアの使用方法を説明するためのものです。現在、過去を問わず、実在する団体や個人とのいかなる類似もまったくの偶然によるものです。

本製品に関する技術情報の請求、またはライセンスをお持ちの製品に関するマニュアル類の請求については、Peregrine Systems, Inc.のカスタマサポート (support@peregrine.com) までお寄せください。

本マニュアルに関するご意見やご要望は、Peregrine Systems, Inc.の出版部 (doc_comments@peregrine.com) までお寄せください。

このエディションは、ライセンス契約に基づくプログラムのバージョン4.4に適用されます。

AssetCenter

Peregrine Systems, Inc.
3611 Valley Centre Drive San Diego, CA 92130
858.481.5000
Fax 858.481.1751
www.peregrine.com



目次

PEREGRINE

はじめに	9
更新とは?	9
更新モジュールの機能とは?	9
更新モジュールの対象ユーザは?	11
本ガイドの使用方法	11
1. 概要	13
更新モジュールの導入手順	13
2. 更新プロセス	15
更新ルールの定義 - 管理者の操作	16
更新提案の検証 - ユーザの操作	17
3. サンプルシナリオ	21
カタログの更新 (サンプルシナリオ)	21
ポートフォリオの更新とインベントリ (サンプルシナリオ)	24
4. リファレンス	29
メニューとタブ	29
テーブル	30
自動プロセス	30
ビュー	30
その他のドキュメントリソース (更新)	31



図の一覧表

PEREGRINE

1. 更新プロセス	10
2.1. 更新プロセス	15
2.2. 更新提案テーブル	18
3.1. Catalog.scnシナリオの図	22
3.2. catalog.scnシナリオの更新提案	24
3.3. iddac.scnシナリオの図	25



表の一覧表

PEREGRINE

4.1. メニューとタブ (更新) - リスト	29
4.2. テーブル (更新) - リスト	30
4.3. その他のドキュメントリソース (更新) - リスト	31



はじめに

PEREGRINE

更新とは？

「更新」とは、ターゲットアプリケーションの既存データより新しいとみなされたソースアプリケーションからの入力データをデータベースに統合するプロセスを意味します。

このプロセスのベースとなるのは、「更新したい情報がターゲットシステムに既に存在しているかどうか」です。

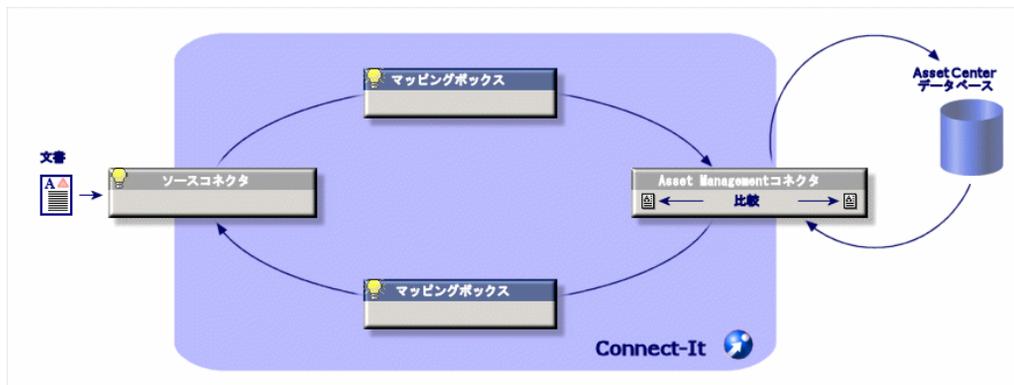
- 答えが「いいえ」の場合、入力データはそのまま挿入されます。
- 答えが「はい」の場合、既存データは入力データに含まれる情報にしたがって更新されます。

更新モジュールの機能とは？

更新モジュールでは、外部ツールから取得されたデータを使用して、AssetCenter内のレコードを更新することができます。

このようにして、データベースの登録に使用される情報を制御したり、特定条件を使用した手動または自動検証プロセスを実行することができます。

図 1. 更新プロセス



更新モジュールでは次のプログラムを使用する必要があります。

- Connect-It (AssetCenter 4.4に付属)

データベース管理者はConnect-Itにスクリプトを挿入することで、更新ルールを定義することができます。AssetCenterデータベースのデータ更新は、ユーザが選択した条件に応じて自動または手動で行われます。

外部アプリケーションからAssetCenterへのデータ転送用に、1つまたは複数の統合化シナリオが用意されています。

警告:

更新モジュールの使用に際しては、Connect-It統合プラットフォームに関する知識が必要です。

Connect-Itの使用に関する詳細は、『ユーザーズガイド』を参照してください。

更新モジュールをフルに活用するには、Connect-Itで以下の項目を用意する必要があります。

- ソースコネクタ

この外部アプリケーション（例えば、IDDまたはLDAPなどのスキャナ）はAssetCenter内のレコード更新に使用されるデータを提供します。
- ターゲットコネクタ

現在、ターゲットコネクタとしては資産管理のみがサポートされています。AssetCenterのamReconcProposalテーブルには管理者が指定した更新提案が記録されており、これらは手動で検証することができます。

更新モジュールの対象ユーザは？

更新モジュールは次のユーザを対象としています。

- データベースの更新の自動化を希望するAssetCenterの管理者: Basicスクリプトを用いてConnect-Itで更新ルールを作成します。
- AssetCenterで変更提案の処理を担当しているユーザ: 変更提案テーブル (amReconcProposal) を使用して提案の管理、検証を行います。

本ガイドの使用方法

「概要」の章

本章では、更新モジュールの導入プロセスの概要を示すとともに、このモジュールの機能についても説明します。

「更新プロセス」の章

本章では、Connect-It（管理者機能）でのルール定義および（指定ユーザによる）その後の更新提案の管理、という2つの標準的な更新プロセスについて説明します。

「サンプルシナリオ」の章

本章では、AssetCenterのカタログ更新とインベントリ後のポートフォリオ更新という、2つの更新シナリオの例を示します。

1 | 概要

AssetCenterの更新モジュールはお客様のデータベースの更新を円滑に行うために設計されています。このモジュールは、更新条件を定義する役割を切り離すことで、ルールを技術的に実装し、実際に適用します。

AssetCenterの更新モジュールを使用することで:

- データベースレコードの更新に使用する条件を徹底的に定義できます。
- 適時、更新プロセスを自動化できます。
- データベースへの統合前に、精査が必要な変更内容を手動で検証できます。

更新モジュールの導入手順

AssetCenterのデータ更新には次のプロセスが含まれます。

- 企業の社内データの制御条件の分析
データベース内の変更に対する制御範囲を定義しなければなりません。例えば、セールスマネージャの場合、一定限度内での価格変更は自動化したいが、大規模な価格変更の場合は個々の検証を行いたいこともあります。
- ビジネスルールセットの作成
ニーズの分析が終了すると、次に優先順位と制御条件を定義できます。
- 制御条件の技術的統合

このステップでは、管理者はConnect-ItにBasicスクリプトを追加します。このスクリプトは更新ルールを作成し、手動検証を必要とする変更が生じると、更新提案テーブル(amReconcProposal)内にレコードを生成します。

- 変更の手動検証

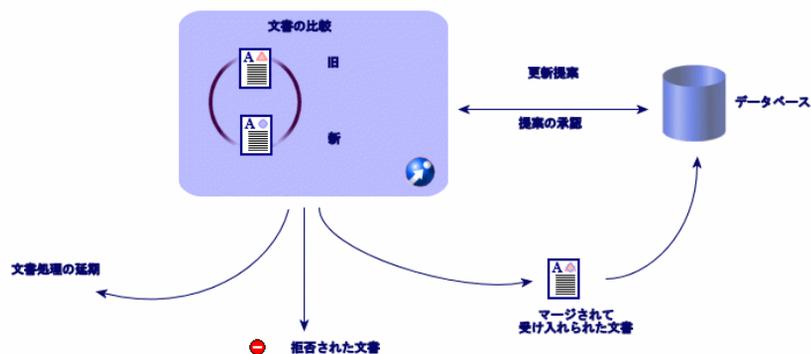
ユーザがAssetCenterの各変更提案を個別に検証します。このステップを踏むことにより、データベースの統合を行う前に、変更内容を完全に制御することができます。

2 | 更新プロセス

更新モジュールの使用にあたっては、次の2つのステップを踏む必要があります。

- Connect-Itアプリケーションで更新ルールを検討し、編集する
このステップは、更新データに対する制御範囲を決定するデータベース管理者用です。
- AssetCenterのamReconcProposalテーブルの変更提案の管理
このステップは、新旧データの比較時に行われる更新提案の検証を担当するユーザが行います。

図 2.1. 更新プロセス



更新ルールの定義 - 管理者の操作

AssetCenterで更新モジュールを使用する前に、管理者はまず更新ルールを作成しなければなりません。このステップでは、Connect-ItにBasicスクリプトを追加する必要があります。

カスタマイズ可能なBasicスクリプトが、catalog.scnおよびiddac.scnシナリオとして、デフォルトで提供されています（これらの例は本マニュアル内にも記載されています）。

Basicスクリプトは、Connect-Itのマッピングまたはドキュメントタイプウィンドウの [Reconciliation scripts] タブで編集することができます。

このスクリプトには次の2つの更新専用の関数を使用されます。

- Update (ValidateReconcUpdate)
- Insert (ValidateReconcInsert)

警告:

Reconciliationモジュールが正しく機能するためには、Asset Managementコネクタのレベルで [Execute the reconciliation scripts] オプションが選択されていることを確認してください。

- 1 Connect-Itシナリオエディタの開始。
- 2 詳細設定をアクティブにします（ [Tools/ Advanced configuration] メニュー）。
- 3 シナリオを開きます。
- 4 Asset Managementコネクタ（ [Scenario scheme] パネル）を選択します。
- 5 シナリオ設定ウィザードを開始します（ [Tools/ Configure] メニュー）。
- 6 ウィザードの [Advanced configuration] ページを表示します。
- 7 [Execute the reconciliation scripts] オプションを選択します。
- 8 設定を確定します（ [Finish] ボタン）。

更新モジュールを使用するには:

- 1 マッピングまたは使用されるドキュメントタイプウィンドウの [Reconciliation scripts] タブにアクセスします。
- 2 デフォルトで提供されているBasicスクリプトを編集します。
- 3 インベントリ時に発生した変更内容の手動検証が必要な場合は、関数（ValidateReconcUpdateまたはValidateReconcInsert）を使用します。データベースの変更が発生した場合は、更新提案がamReconcProposalに作成されますが、これらの提案に対する手動検証が必要です。

 注意:

手動検証を使用せずに、更新プロセスを単に自動化したいだけの場合は、上記の関数を使用せずに、[Reconciliation Scripts] タブに必要なスクリプトを追加します。

 注意:

ValidateReconcUpdateおよびValidateReconcInsert関数のパラメータについての詳細は、config/ac/basフォルダにあるac.basファイル内のコメントを参照してください。

 警告:

ValidateReconcUpdateおよびValidateReconcInsert関数を呼び出すには、シナリオで使用する.basファイルリストにac.basファイルを追加する必要があります。

- 新しいシナリオの場合は、ac.basファイルがデフォルトでアクティブになります。
 - 古いシナリオの場合は、ac.basファイルが [Scenarios/Global functions] メニューからアクセスできるリストでアクティブになっていることを確認してください。
-
-

 警告:

AssetCenterでamReconcProposalテーブルの更新提案を検証したら、Connect-Itでそのシナリオを再起動する必要があります。このようにして変更内容は反映され、データが競合することがなくなります。

 注意:

原則として、スケジューラを利用して、シナリオを定期的に再起動することをお勧めします。スケジューラの使用の詳細については、『Connect-It』ユーザガイドを参照してください。

更新提案の検証 - ユーザの操作

管理者は、amReconcProposalテーブルの詳細ウィンドウにある [担当者] フィールドに入力して、更新対象の提案をいくつか振り分けます。保留中の更新提案リストには管理者しかアクセスできません。

 **注意:**

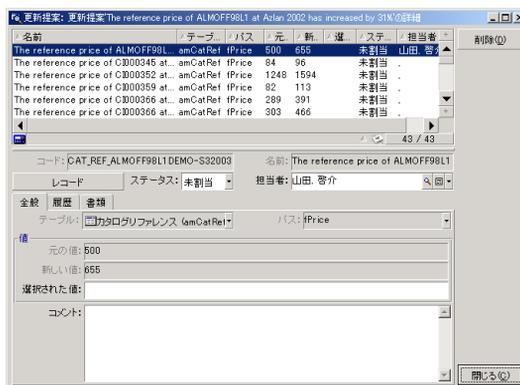
デフォルトでは、AssetCenterデータベースの管理者権限を持つユーザのみが更新提案を割り当てることができます。

検証担当のユーザは、amReconcProposalテーブルから割り当てられた更新提案を管理します。

更新提案を手動で検証するには:

- 1 amReconcProposalテーブルを表示します。このテーブルには [ポートフォリオ / 更新提案] または [管理 / 画面一覧] メニューからアクセスできます。

図 2.2. 更新提案テーブル



名前	テーブル	バス	元	新	ステータス	担当者	削除
The reference price of ALMOFF98L1 at Aslan 2002	amCatRef	IPrice	500	655	未割当	山田 啓介	
The reference price of CD000345 at ...	amCatRef	IPrice	84	96	未割当		
The reference price of CD000352 at ...	amCatRef	IPrice	1248	1594	未割当		
The reference price of CD000359 at ...	amCatRef	IPrice	92	113	未割当		
The reference price of CD000366 at ...	amCatRef	IPrice	289	391	未割当		
The reference price of CD000366 at ...	amCatRef	IPrice	393	466	未割当		

コード: CAT_REF_ALMOFF98L1 DEMO-S32003 名前: The reference price of ALMOFF98L1
レコード ステータス: 未割当 担当者: 山田 啓介

全般 | 履歴 | 書棚

テーブル: カタログリファレンス (amCatRef) バス: IPrice

値

元の値: 500
新しい値: 655
選択された値:

コメント:

閉じる

更新提案はそれぞれテーブル内のレコードに対応しています。提案関連の情報はすべて詳細ウィンドウで見ることができます。

 **注意:**

提案に関連するレコードの詳細を表示するには、詳細ウィンドウで [レコード] ボタンをクリックします。

検証者は、自分に割り当てられた更新提案リスト（検証済みまたは非検証）にアクセスすることができます。

- 2 更新提案を検証するには、次の2つのオプションから選択できます。
 - 提案の [名前] フィールドの右側にある [元の値] または [新しい値] ボタンをクリックします。[ステータス] フィールドが自動的に入力され、ステータスが [Validated] に変わります。[新しい値] および [選択された値] フィールドも選択した条件にしたがって自動的に入力されます。

 **注意:**

[Old val] および [New val] ボタンを使用すると、既存の値を直接統合することができ、処理時間を短縮できます。

提案を却下するには（インベントリに失敗した後など）、[却下] ボタンをクリックします。

- [Selected value] フィールドに必要な値を入力し、[Status] フィールドで提案のステータスを手動で選択します。

提案を却下するには、[Status] フィールドの [Document rejected] を選択します。

このプロセスはすべて手動で行い、[選択された値] フィールドに別の値を組み込むことができます。

 **警告:**

文書を却下すると、更新提案およびインベントリ（FSFファイル）のすべての結果も同様に却下されます。



3 | サンプルシナリオ

モジュールを使用した更新プロセスとその方法を説明するために、いくつかのサンプルシナリオを作成しました。これらのシナリオに関連するデータは、AssetCenterに付属のデモ用データベースに収録されています。

カタログの更新（サンプルシナリオ）

カタログを発行することで、ベンダの顧客の購入管理を簡略化することができます。カタログの更新には、手動更新または自動更新が必要です。AssetCenterの更新モジュールでは、更新プロセスに対する制御レベルをカスタマイズすることができます。

サンプルシナリオの目的

この例では、次の変更に対する手動検証を依頼したものとします。

- 価格が1000ドルを超えるカタログの新規レコードを統合する
- 価格の変動は10%以上

サンプルシナリオの使用

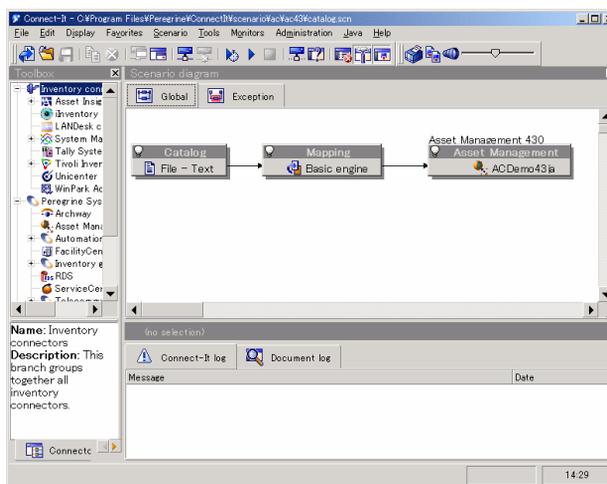
このサンプルシナリオを使用するために、AssetCenter提供のデモ用データベースに管理者として接続することをお勧めします。

catalog.scnシナリオを起動するには:

- 1 Connect-It統合プラットフォームの起動。
- 2 [File/ Open] メニューから、Connect-Itインストールフォルダのscenario/ac/ac4.3フォルダにあるcatalog.scnファイルを選択します。

シナリオの図が表示されます。

図 3.1. Catalog.scnシナリオの図



サンプルシナリオの条件を設定するスクリプトを表示するには:

- Asset Management target connectorを右クリックし、次に [Edit a document type] コマンドを選択します。
- 使用されるドキュメントタイプamCatRefを編集し、fPrice要素にカーソルを置きます。
- [Reconciliation scripts] タブから、次に示す最初のスクリプトにアクセスできます。

```
新しい値 (vNewVal) が古い値(vOldVal)より10%以上大きいかどうかテストします。
If vOldVal = 0 OR vNewVal <= vOldVal * 1.1 Then
新しい値が古い値より10%以上大きくないので、現状のままで返されます。
RetVal = vNewVal
```

```
Else
' 新しい値は古い値よりも10%以上大きくありません。
' 更新提案を保存し、手動で検証します。
RetVal = ValidateReconcUpdate("CAT_REF_" & [Ref] & [Catalog.Code] & [dPriceUpdate], FormatResString(PifStrVal("RECONC_SAMPLE_PRICE_INCREMENTED"), [Ref], [Catalog.Name], Int((vNewVal - vOldVal) / vOldVal * 100)), "amCatRef", "fPrice", vNewVal, vOldVal, vOldId)
End If
```

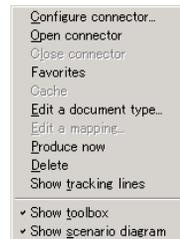
更新スクリプトの例: 価格が10%以上増加すると、更新提案が生成され、AssetCenterで検証しなければなりません。

- [Reconciliation scripts] タブからは、次のスクリプトにアクセスできます。

```
' 新しい値 (vNewVal) が1000ドル未満かどうかをテストします。
If vNewVal < 1000 Then
' 新しい値が1000ドル未満の場合は現状のままで返されます。
RetVal = vNewVal
Else
' 新しい値は1000ドル以上です。
' 更新提案を保存し、手動で検証します。
RetVal = ValidateReconcInsert("CAT_REF_" & [Ref] & [Catalog.Code] & [dPriceUpdate], FormatResString(PifStrVal("RECONC_SAMPLE_PRICE_TOOBIG"), [Ref], [Catalog.Name]), "amCatRef", "fPrice", vNewVal)
End If
```

差込スクリプトの例: カタログ内で1000ドル以上の新規レコードはそれぞれ1つの更新提案を生成し、AssetCenterでこれを検証しなければなりません。

- 3 [catalog] コネクタを右クリックし、次に [Produce now] を選択します。



サンプルシナリオが立ち上がります。

- 4 AssetCenterで、[ポートフォリオ / 更新提案] メニューを選択します。必要に応じて、[F5] を押して日付を更新します。

図 3.2. catalog.scnシナリオの更新提案

名前	テーブル	パス	元	新	差	ステ	担当者
The reference price of CD000366 at amCatRet	amCatRet	fPrice	303	466		未割当	
The reference price of CD000370 at amCatRet	amCatRet	fPrice	4426	5703		未割当	
The reference price of CD000380 at amCatRet	amCatRet	fPrice	2297	2698		未割当	
The reference price of CD000387 at amCatRet	amCatRet	fPrice	853	1026		未割当	
The reference price of CD000387 at amCatRet	amCatRet	fPrice	867	982		未割当	
The reference price of CD000401 at amCatRet	amCatRet	fPrice	182	231		未割当	

更新提案が表示されます。

- 価格増加が10%未満のカタログ項目は自動的に更新されるのに対して、価格増加が10%以上の項目はデータベースに最終的に統合する前に検証する必要があります。
- 1000ドル未満の新しいレコードが自動的にカタログに統合されるのに対して、1000ドル以上の新しいレコードはデータベースに最終的に統合する前に検証する必要があります。

ポートフォリオの更新とインベントリ (サンプルシナリオ)

サンプルシナリオの目的

このサンプルでは、ユーザは次のような条件を望んでいるとします。

- コンピュータの現在のRAMの容量を減らさない
- すべての新規アプリケーションをC:ドライブにインストールする

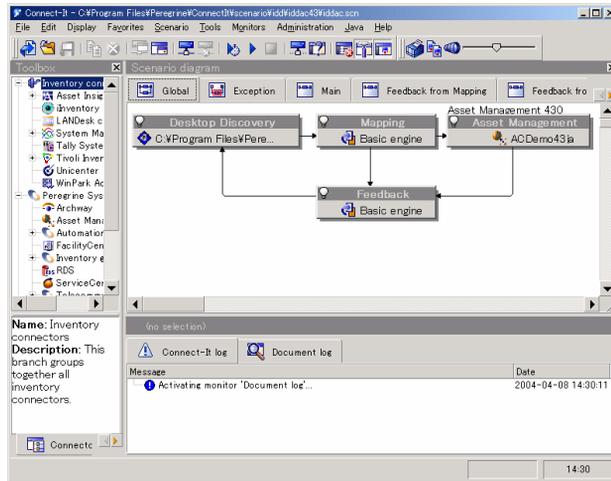
サンプルシナリオの使用

このサンプルシナリオを使用するために、AssetCenter提供のデモ用データベースに管理者として接続することをお勧めします。

iddac.scnシナリオを起動するには:

- 1 Connect-It統合プラットフォームの起動
- 2 [File/ Open] メニューから、Connect-Itインストールフォルダの scenario/idd/iddac4.3フォルダにあるiddac.scnファイルを選択します。シナリオの図が表示されます。

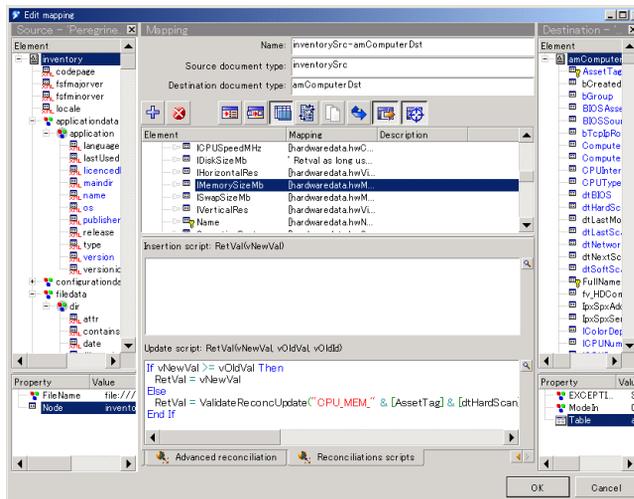
図 3.3. iddac.scnシナリオの図



サンプルシナリオの条件を設定するスクリプトを表示するには:

- Asset Management target connectorを右クリックし、次に [Edit a document type] コマンドを選択します。

- 使用されるドキュメントタイプamComputerを編集し、 [IMemorySizeMb] 項目を選択します。



- [Reconciliation scripts] タブから、次に示す最初のスクリプトにアクセスできます。

```

If vNewVal >= vOldVal Then
RetVal = vNewVal
Else
RetVal = ValidateReconcUpdate("CPU_MEM_" & [AssetTag] & [dtHardScan],
FormatResString(PifStrVal("RECONC_SAMPLE_LOWER_MEMORY"), [Name]),
"amComputer", "IMemorySizeMb", vNewVal, vOldVal, vOldId)
End If

```

更新スクリプトの例: ポートフォリオ内のコンピュータのメモリが減ると、AssetCenterで検証する必要がある1つの更新提案が生成されます。

- 3 [Desktop Discovery] コネクタを右クリックし、次に [Produce now] を選択します。
シナリオが立ち上がります。
- 4 AssetCenterで、 [ポートフォリオ / 更新提案] メニューを選択します。必要に応じて、 [F5] を押して日付を更新します。
更新提案が表示されます。
 - メモリが増加したコンピュータは自動的に更新されるのに対して、メモリが減少したコンピュータはデータベースに統合される前に検証されなければなりません。

- C:ドライブに新しくインストールされたアプリケーションはデータベースに自動的に記録されるのに対して、別のドライブにインストールされたアプリケーションはデータベースに統合される前に検証されなければなりません。
-

 **注意:**

シナリオにはマッピングボックスと [Asset Management] コネクタから [Desktop Discovery] コネクタへの帰還ループが含まれます。この帰還ループはFSFがConnect-Itによって正しく処理されしだい、これを移動または削除するためのものです。

このプロセスの詳細については、『Connect-It』ユーザーズガイドを参照してください。

4 | リファレンス

メニューとタブ

更新モジュールのデータは、次のメニュー、データ、リンクおよびフィールドからアクセスすることができます。

表 4.1. メニューとタブ (更新) - リスト

サブメニュー	メニューからアクセスできるテーブル (ラベルとSQL名)
[ファイル]メニュー モジュールをアクティブにする	更新モジュールをアクティブまたは非アクティブにします (ライセンスファイルで許可している場合)。 アプリケーションで次のメニューが表示されない場合、このメニューを使用します。
[更新]メニュー ポートフォリオ / 更新提案	更新提案テーブル(amReconcProposal)にアクセスできます。
[管理]メニュー	

サブメニュー	メニューからアクセスできるテーブル（ラベルとSQL名）
画面リスト	現在のメニューからアクセスできないテーブルにアクセスできます。 通常このようなテーブルを直接変更する必要はないため、このタスクは管理者に限定されます。

テーブル

更新モジュールに関連するテーブルは次のテーブルです。

表 4.2. テーブル（更新） - リスト

テーブルのラベル	テーブルのSQL名	テーブルにアクセスするためのメニュー
更新モジュールに特に関連するテーブル		
更新提案	amReconcProposal	ポートフォリオ / 更新提案

自動プロセス

AssetCenterによってバックグラウンドで実行される自動プロセスの詳細については、『Database structure』ガイドを参照してください。本ガイドで説明するテーブルには、それぞれ対応する [自動プロセス] セクションが付属しています。

『Database structure』ガイドの入手先については、「[その他のドキュメントリソース（更新）](#) [倭麟1]」セクションを参照してください。

ビュー

デフォルトでは更新モジュールに割り当てられたビューはありません。

ビューの使用方法については、『Tailoring』ガイドの「Using views」の章を参照してください。

その他のドキュメントリソース（更新）

このガイドは 更新モジュールに直接関連する情報のみを提供します。
このガイドに記載されていない関連情報を入手するには、次のドキュメントをお読みください。

表 4.3. その他のドキュメントリソース（更新） - リスト

書類	情報	フォーマット	AssetCenterインストールフォルダの場所
インストール	<ul style="list-style-type: none"> AssetCenterのインストール 	ハードコピー	/doc/pdf/Installation*.pdf
		オンライン	/doc/chm/install*.chm
主要テーブル	<ul style="list-style-type: none"> 場所の管理 従業員の管理 任意管理項目の管理 Etc. 	ハードコピー	/doc/pdf/CommonTables*.pdf
		オンライン	/doc/chm/common*.chm
		ハードコピー	
		オンライン	
はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ユーザインタフェース 	ハードコピー	/doc/pdf/UserInterface*.pdf
		オンライン	/doc/chm/userint*.chm
ケーブルと回路	<ul style="list-style-type: none"> ケーブル管理 	ハードコピー	/doc/pdf/CableAndCircuit*.pdf
		オンライン	/doc/chm/cable*.chm
管理	<ul style="list-style-type: none"> ウィザードの使用 フィールドのカスタマイズ 特殊フィールドの使用 	ハードコピー	/doc/pdf/Administration*.pdf
		オンライン	/doc/chm/admin*.chm
		オンライン	
高度な使い方	<ul style="list-style-type: none"> リストデータの管理 スクリプトの作成 	ハードコピー	/doc/pdf/AdvancedUse*.pdf
		オンライン	/doc/chm/advanced*.chm

書類	情報	フォーマット	AssetCenterインストールフォルダの場所
フィールドとリンクのヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> データベースでフィールドとリンクを使用する 	オンライン	<p>フィールドまたはリンクに関する状況依存ヘルプにアクセスするには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 フィールドまたはフォルダを選択します。 2 次のアクションのいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ ショートカットメニューから [ヘルプ] を右クリックして選択します。 ■ キーボードの [Shift] および [F1] キーを同時に押します。 ■ [フィールド / フィールドのヘルプ] を選択します。
プログラマーズリファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ■ APIの使用 	<p>ハードコピー</p> <p>オンライン</p>	<p><code>/doc/pdf/ProgrammersReference*.pdf</code></p> <p><code>/doc/progref*.chm</code></p>
データベース構造	<ul style="list-style-type: none"> ■ データベースのテーブル、フィールド、リンクおよびインデックスのリスト ■ AssetCenterにトリガされた自動エージェント 	<p>テキストファイル</p> <p>オンライン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ <code>doc/infos/database.txt</code> ■ <code>/infos/tables.txt</code> <p><code>/doc/chm/dbstruct*.chm</code></p>
一般オンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべてのアプリケーションの機能 	オンライン	<p>オンラインヘルプにアクセスするには、次のいずれかを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 [F1] を押します。 2 [ヘルプ / トピックの検索] を選択します。

